

ヤブタ塗料株式会社 (貿易繊維部会)

所在地

小田原市本町 2-4-18

ホームページ

<http://www.yabuta-paint.com/>

代表取締役

藪田 直秀



社屋



代表取締役 藪田 直秀 様

- [平塚] 平塚営業所、施工管理部、ペイントリフォームセンター
- [沼津] 第一工場 (焼付塗装)、第二工場 (電着塗装)
- [伊勢原] 物流倉庫
- [上海] グループ会社: 上海真鶴塗装有限公司 本社工場 (焼付塗装)
第二工場 (紛体塗装)

業務内容: 塗料・塗装設備機器・接着剤・テープ・溶剤・
塗装用具の販売・Web販売・工業塗装・建築塗装

沿革・事業について

地域で愛され創業110年

1904年(明治37年)に創業し、今年の12月で110年となります。小田原市本町の現在のこの地で創業しています。110年前に塗料なんかあったのか?という、当時は漆や柿渋などの天然のものを扱っていたそうです。その後、戦前、戦中、戦後、高度成長期と時代の流れと共に、工業薬品や接着剤、ケミカル品から塗料と取扱い品目も変わっていきました。

戦後間もなくは、物があっただけでも飛ぶよう売れたそうですが、今は物があって当たり前となり、塗料の卸売りだけでなく、自社の扱う塗料を使って加工までしようと、1990年に先代(現会長)が建築塗装、工業塗装を始めました。

その背景には、当時、売り上げの9割を占めていた、小田原の木工用塗料の売上減などがあり、建築塗装、工業塗装へと業容を拡大していきました。

2006年にはインターネット販売事業も始め、現在ではももとの塗料販売に加え、建築塗装、工業塗装の3事業を展開しています。ヤブタ塗料の看板を掲げ営業し続けている事が、地域のお客さまの信頼につながっていると感じています。

グローバル展開について

ベトナム工場の立ち上げに向けて

合理化を図るため、沼津にある2つの工場を移転し合併することを考えています。沼津工場を母体として1996年には上海に進出することができました。上海はこの6月から第2工場も操業しており、2015年4月には大連工場が稼働できるよう準備をしています。

2016年以降にはベトナムへの進出を計画しており、そこでKIPと大きく関わっています。メインの取引先がベトナムに進出したため、輸送費などコスト面からも、ゆくゆくは現地と一緒に考えています。その辺を視野に入れ、2年前にベトナムの研修生2名を呼び、沼津工場でも働いてもらっていますが、彼らにベトナム工場の立ち上げに携わってもらう予定です。

景気の波

多業種経営によるおもしろさ

工業塗装では車の部品の塗装を一部しているため不況の影響は正直ありました。震災後は建設ラッシュで建設業界は忙しかったです。増税前はインターネット販売でのまとめ買いも増えましたね。

うちは卸売業、建設業、製造業と多くの業種を営んでいるため、それぞれに影響の出方が違いました。よく「景気どうですか?」と質問され困りますが、答えの引き出しはたくさん持っていますし、多業種な事業展開ならではのおもしろいところですね。

事業承継について

先代の先見の明

小さいころから自分か弟のどちらかが会社を継ぐのだろうとは思っていました。

サラリーマンを経験したのちに入社しましたが、その当時はメールアドレスもホームページもないような会社でした。

ホームページからの集客に力を入れ、インターネット販売も始めました。KIPのセミナーに参加して、ゼロからホームページ作りを学び、当時の講師とは今でも仕事の付き合いが続いています。

60代くらいのバブルを経験している先輩社長さんたちとお話しをすると「今ガマンすれば、きっとまた良い時代がくる」と考えている方が多いように感じます。でも私たちは、厳しいのが普通という時代で社会に出ているので、頑張らないと生き残れない、何もしなければ退場するしかないという世代です。

そんな中、同じくバブルを経験している先代の父は、常に先を見て、現業のみの経営に危機感を持っていました。早くから業種を広げること、海外展開することを考えており、父を褒めるのも変ですが、先見の明があったなと思いますし、感謝しています。

夢について

10か年ビジョン

昨年「10か年ビジョン」というものを作っています。そのビジョンの中で、2022年には年商22億円を達成して、その時点で上場できるような準備体制を整えようという目標があります。

あとは、卸売業の多店舗展開です。フランチャイズ方式で各エリアに販売店を出したいという目標も掲げています。

個人の夢と言われても結局は会社とリンクしてしまっていますが…社長ってそういうものですね。同じく会社を経営している仲間、社内公用語のため、社長自ら3か月イギリスに語学留学をした人、日本で1番働きたい会社と言われていたオリエンタルランドで、社長業を2か月休んで覆面アルバイトをした社長がいます。そんなことをして経営は大丈夫?と心配になりますが、自分が不在でも安心できる会社にしていきたいですね。そしていつか自分も社長業の間に1年ほど語学留学に行きたいです。